

1. 日時：令和3年12月17日（金） 15：30～16：30（於：校長室）

2. 次題：

（1）校長挨拶（司会：教頭）

（2）事務局より

●：事務局 ○：協議会委員

●教頭より

<授業アンケート結果について>

7・10月に授業アンケートを行っている。生徒はアンケートの各項目について、4段階で答える。経年変化をまとめると、学校平均ではどの項目も上昇傾向にある。教科ごとにみると、国語、地歴公民、理科の伸びが高い。学年別でみると、今年の3年生はどの項目も上がっており、上げ幅も大きい。また、項目6（「学習内容や考えをまとめ、発表する機会が効果的に設定されている」）については、令和元年から大きく上がっている。評価において思考力・表現力・表現力が重視されるようになっている影響であると考え。実際、授業中に表現活動の機会が増えた。

●教務部主任より

<教科用図書選定について>

教科用図書選定委員会を、3回開催した。第1回目では、来年度から1年生は新カリキュラムになることを伝えた。第2回目では、選定理由を報告し合った。第3回目では、各教科の選定教科書を持ち寄って、選定理由を確認した。10月には教科用図書の採択が府教委から通知されたことをご報告する。来年度から新カリキュラムになるが、1年生では国語と社会が変わる。国語では現代の国語・言語文化が設定され、社会では歴史総合・公共が設定される。本校では、英語は総合英語に代わり、ディベートディスカッションが導入される。

●首席より

<校内での感染症対策について>

保健体育部が中心となって新型コロナ対策をおこなっている。各教室に手指消毒のためのアルコールを設置し、昼食時には日直の教員が黙食指導を実施している。体調不良の生徒に対しては、保健室ではシーツの交換を徹底し、休養室を保健室と分けるなどの感染対策をおこなっている。さらに、体調不良の生徒が出たときの対応はフローチャートに記されており、それに沿った迅速な対応をしている。生徒を多目的ホールなどに集めるときは、換気、マスクの着用、間隔を開けることを徹底している。オミクロン株の拡大が懸念されるなかで、今後も校内での対策について注意していきたい。

### ●首席より

<令和3年度WWLにおける取り組みと次年度以降について>

本年度は海外研修が全てキャンセルとなり、代替として淡路島での宿泊研修や、Critical Thinking の校内研修をおこなった。それ以外は予定通りおこなわれた。SDGsに関する課題研究では20グループ程度が活動し、留学生2名も参加している。クロムブックが9月に配付されたので、教員も利用法を模索中であり、生徒は課題研究などで使用している。学内留学については80名が参加し、英語での即興型ディベートにも積極的に参加している。しかしWWLは今年度までなので、これまでの活動の遺産をどのように受け継ぐかを検討中である。今後、台湾・オーストラリアでの研修や、学内留学などを残す予定である。人員と予算の問題については、申請中の助成金はあるが模索中である。

### ●進路部主任より

<3年生の模試の結果について>

本校では2,3年次に校内模試を行っている。第1回目は2年の1月に行い、2年の冬から受験を意識させている。校内模試は、難関大の2次試験に対応した問題になっている。各教科から出た数値では、やや難問への取り組みが進んでいない生徒が多い印象である。しかし共通テスト対策については、7,10月に全国規模の模試を受けたが、どの科目も昨年度よりも概ね良い結果が出ている。共通テストについては早く仕上がっており、自信を持てる印象。

志望先は例年より京大が20名少なく、阪大・神大に10名ずつ流れている。大阪公立大は各クラス1名ずつ程度である。学年のトップ層は今まで京大志望だったが、今年は東大を志望する生徒が増えたのが印象的である。上位層の生徒は、特に理系で模試での得点が例年より上がっている。今年の3年生は、はじめからコツコツと着実に受験対策に取り組んでいる印象だが、一人で勉強に取り組むなかで、生徒も受験について心配・不安にもなっているのではないかと思う。不安に思うことなく、強気の出願をすれば良い結果が出ると思っている。例年、追い上げる力があるので、今年もその力を信じてやってほしい。

### ●生徒指導部主任より

<生徒の様子について>

今年度の学校の出席状況については、遅刻数が多くなりそうだとみている。昨年の休校や今年度のコロナによる不安要素から、生活リズムを崩しているのではないかと思う。欠席の生徒も多く、ストレスを抱えている生徒が多い印象である。行事では、保護者なし、生徒のみでの開催のものが多かったが、予定通り実施できた。昨年度できなかったものができるようになったのでよかった。六稜祭も延期を経て実施

できた。遠足は、修学旅行に行けなかった3年生が遠出をする遠足となった。修学旅行に代わるクラス行事ができて良かったし、生徒も満足していた。2年も修学旅行に行くことができた。感染対策に注意を払いながら、出来る限り行事は実施したいので、外部の方には来校を控えていただくことを、理解を得て実施している。生徒の問題行動・トラブルはSNS関連が多い。対応はしているが、教員の目が届かないこともあり、その件数も他校と変わらない。

### (3) 協議・意見交流

○全体的な傾向として、生徒が昔に比べて塾の呪縛に捕らわれている印象。塾の力で本校に入り、入試のときにも塾に頼っている。昔は塾に行かなくても入れる生徒が入ってきたが、今は塾に押し上げられた生徒もいる。そのタイプの生徒は塾の呪縛から抜け出せない。遅刻についても、塾の課題が多く夜遅くまで頑張っていて朝起きることができないという影響も出ているのではないかと思う。東大志望の増加についても、塾による序列化の影響ではないかと思う。塾では自分の興味を育む時間を持たないので、そのような機会が減っているのではないか。いろいろな授業の中で、学問のロマンや楽しさを教えてもらえ、自分が興味を持てることを発見できるといい。それが、学校が塾に対抗する方法だと思う。

○授業評価アンケートの結果について質問がある。評価が上がっていたが、学校の先生の工夫や方針について教えてほしい。

#### ●教頭

授業の目標を冒頭ではっきりと示す先生が増えてきており、半分以上が示している。目標を明示することで生徒の理解度が変わる。昔は、もやもやした部分を残し、生徒に考えさせる授業もあったが、今はそういうタイプの授業が減り、丁寧でわかりやすい授業になっている。生徒もそれを求める傾向があるので、分かりやすさという観点で評価が上がっていると考える。

#### ●首席

確かに生徒自身が考えた結果を発表させる機会は多く設定するようになった。しかし期待した答えが来なければ授業の質が下がるので、バランスが難しい。最終的には理解させなければならない。

#### ●校長

今年の授業アンケートの結果は、各教科の平均が他校の最高評価程度になっているという、普通なら考えられない結果である。65分の授業を集中させるためには工夫する必要があるため、その工夫が他校よりも多く取り入れられているのではないかとみている。ペアワークも内容が吟味されている。生徒もそのあたりの見方はシビアなので、授業見学でも随所に工夫を感じている。

## ●教頭

授業に工夫を重ねるため、先生の教材研究に関するプレッシャーは大きく、時間もかかる。

○その分、先生の負担もあるのではないかと。先生方はいつも忙しい印象がある。事務仕事の処理能力も求められるようになってきている。あそびの余地を残してほしい。それをどのようにデザインするかが大事。仕事をプラスするのは簡単だが、シンプルにするのは難しい。

○同窓会から、クラブの優秀者に激励金を出しているが、近年その支出が激増している。東大王（クイズ番組）や模擬国連への出場などバラエティに富み、感心している。勉強だけではなくがんばっている雰囲気を感じ取っている。コロナで活動が制限されたはずだが、その間にきっちり自主練していたのだと思う。

○授業面では、真面目な生徒ばかりなのかなという印象である。私たちのときは丁寧な説明がないことが前提だったが、今の生徒は結果を急いでいるのでは。プロセスも楽しむことも重要であり、そういう手法も認めることが必要である。コロナによる不安は、遅刻以外にも表れているかもしれない。学校としてどのように対処しているか。

## ●生徒指導部主任

スクールカウンセラーを他校よりも多く配置している。生徒からの需要もかなり高い。担任はもちろん、学校全体でケアする体制をとっている。

## ●教頭

担任が生徒に寄り添い、欠席者に丁寧にケアしている。

○昨年度からコロナで学校が振り回される中で、本校でもやれることはやっていこうという方針である。制限の中でこそ工夫が出てくる。子どもたちにもそういう話をしながら、限られた中で精いっぱいやることを指導していく。悩ましいのは保護者に学校の状況を知ってもらう機会がないことである。今後もコロナがどう展開するか分からないが、どんな条件でも方針は変えずにやりたい。授業の工夫についてだが、小学校では当たり前のように授業の最初に今日のめあてを書いている。目標を子どもたちに意識させたいので、今日のまとめで振り返っている。最初にめあてがはっきりしていたら、授業の印象は生徒に強く残る。単純なことかもしれないが、やるべきである。

○今の3年は、高校生活の一番楽しい時に、コロナで楽しめなかったのが他にすることが少なく、勉強にエネルギーが向いた。大学に入って楽しむために、今頑張っている生徒もいる。工夫して自分で考えて、塾を上手く使っているのがこの学校の子どもではないかと思う。